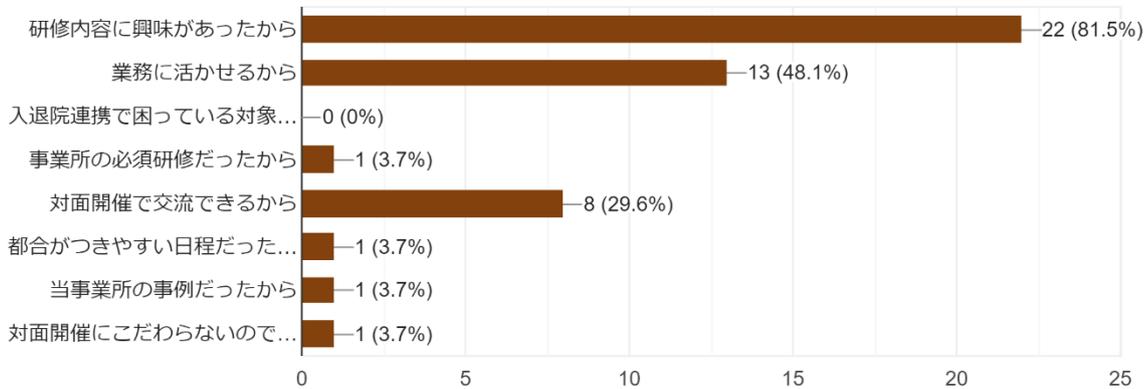


2024/9/5 看護職連絡会 事例検討会アンケート結果

参加者 29名 アンケート回答者 27名 回答率 93%

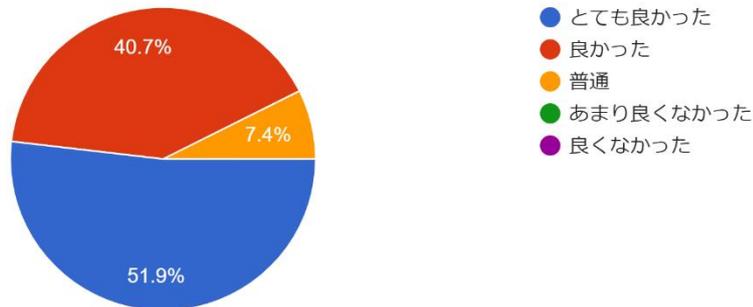
1. 今回研修に参加した理由を教えてください（複数回答可）

27件の回答



2. 事例1はいかがでしたか？

27件の回答

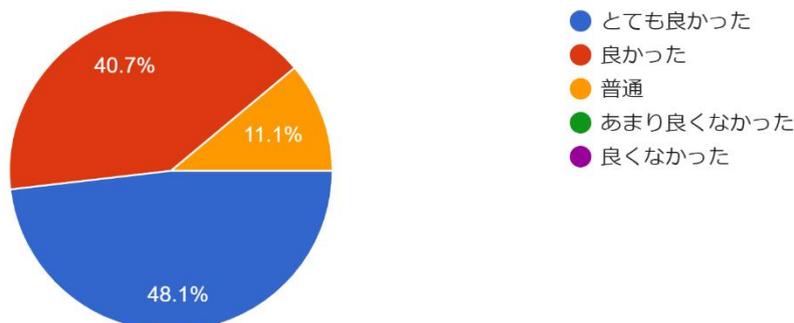


理由を教えてください 15 件の回答 一部回答抜粋

- ・ 難しい症例への対応が学べた。
- ・ 今まさに増えて来ている事例で、わかりやすかった。
- ・ 色々なところに勤めている看護師とお話が出来た。病院側と在宅側のギャップを埋めるためにいい話し合いができた。
- ・ 慢性疾患のターミナル期への関わりの難しさを共有できるとともに、本人と家族の思いや希望を正しく知ることの大切さを共有できたと思う。ACPの必要性をさらに感じた。
- ・ 医療者が 医療者の視点で家族や患者に対して「指導が守れない」「勝手にやっている」「厳しいICをしたのに」などなどの発言をしてしまうことがしばしばあるかと思います。私たちはどれだけ、本人・家族の思いに寄り添えているか。どう生きたいか。どう逝きたいかを一緒に考えられる看護師でありたいと思っている。

2. 事例2はいかがでしたか？

27件の回答



理由を教えてください 15 件の回答 一部回答抜粋

- ・ 成功事例の経過を参考にできます。成功した理由を考える機会になった。
- ・ お看取りを目標とした在宅サービスの状況で、事例1と対照的で良かった。
- ・ 連携が素晴らしく良いチームがくれたと思う。日頃の連携についての大切さを実感した事例だった。
- ・ ACPの重要さを感じました
- ・ 家族の思いが一致していることはよりよい支援に繋がるなと思いました。
- ・ 在宅支援者全体が高齢の介護者を否定せず、想いに沿ったケアを展開できた事が良かったのでは。

4. 今後を活かせそうな内容はありましたか。あればご記入ください。12 件の回答 一部回答抜粋

- ・ 様々な立場の方と情報共有でき良かった。地域連携室、病棟の相談、流れ等聞くことができた。
- ・ 訪問看護師さんやケアマネージャーさんが実際に困った事例など知りたいです。
- ・ 連携をより深めながら、病院と地域の支援をスムーズにして患者さんに活かしていきたいと思った。
- ・ 困難事例への向き合い方
- ・ 利用者やその家族の意思決定の構築に関わることを臆せず、真摯に向かいあっていきたいとあらためて感じた。
- ・ 皆さんが、本人・家族を主体に物事を考えているという実際の状況も聞けました。様々なタイミングで本人・家族とACPについて考える機会が必要だと感じました。
- ・ 倫理的な視点でも検討することの重要性。
- ・ 在宅チームの意見や実際を知る事ができて良かった。在宅チームと情報共有を行い、入院中にできる限り在宅のイメージができる様な介入をしたい。

5. 研修全体を通じてご感想・ご意見などありましたらご記入をお願いします。14 件の回答 一部回答抜粋

- ・ また参加したい。
- ・ 在宅と病院の情報共有をもっと気軽にできると良い。
- ・ 色々な事業所の意見を聞きたいので業務後ではなく日中の研修だととてもありがたいです。
- ・ 多職種に会うことが出来て良かったです。仕事中のピリピリした感じなく話せて、今後の連携に良い影響を与えてくれそうです。